

ヤマエ久野

トワードと業務提携

九州エリアの低温物流

食品卸大手のヤマエ久野は18日、温度管理物流などを手掛けるトワード（友田健治社長、佐賀県吉野ヶ里町）と、九州を中心としたエリアでの低温物流につい

て業務提携する、と発表した。

消費者の節約志向型の購買行動や人手不足による労働コスト及び物流コストの高騰により、流通業界で厳

しい事業環境が続く中、今回の提携を通じて両社が持つ経営資源と経営ノウハウを有効活用し、事業効率を向上させる。

ヤマエ久野が培ってきた食品卸売り分野における顧客基盤や提案力と、トワードが持つ福岡低温物流センター、九州ハブ低温物流センターなどの拠点網、独自の鮮度管理技術を合わせ、九州を中心としたエリアでの低温物流に関する倉庫事業や配送事業を強化。外部環境の変化に対応する高度なロジスティクスネットワークの構築を目指す。

（高松美希）